
2023年9月期 第3四半期 決算説明資料

2023年 8月10日
株式会社 学研ホールディングス

INDEX

エグゼクティブ サマリー	…… P.03
2023年9月期 第3四半期決算概要	…… P.07
教育分野 第3四半期決算	…… P.12
医療福祉分野 第3四半期決算	…… P.20
決算補足資料	…… P.26

2023年9月期 第3四半期決算 エグゼクティブ サマリー

2023年9月期 第3四半期決算 エグゼクティブサマリー

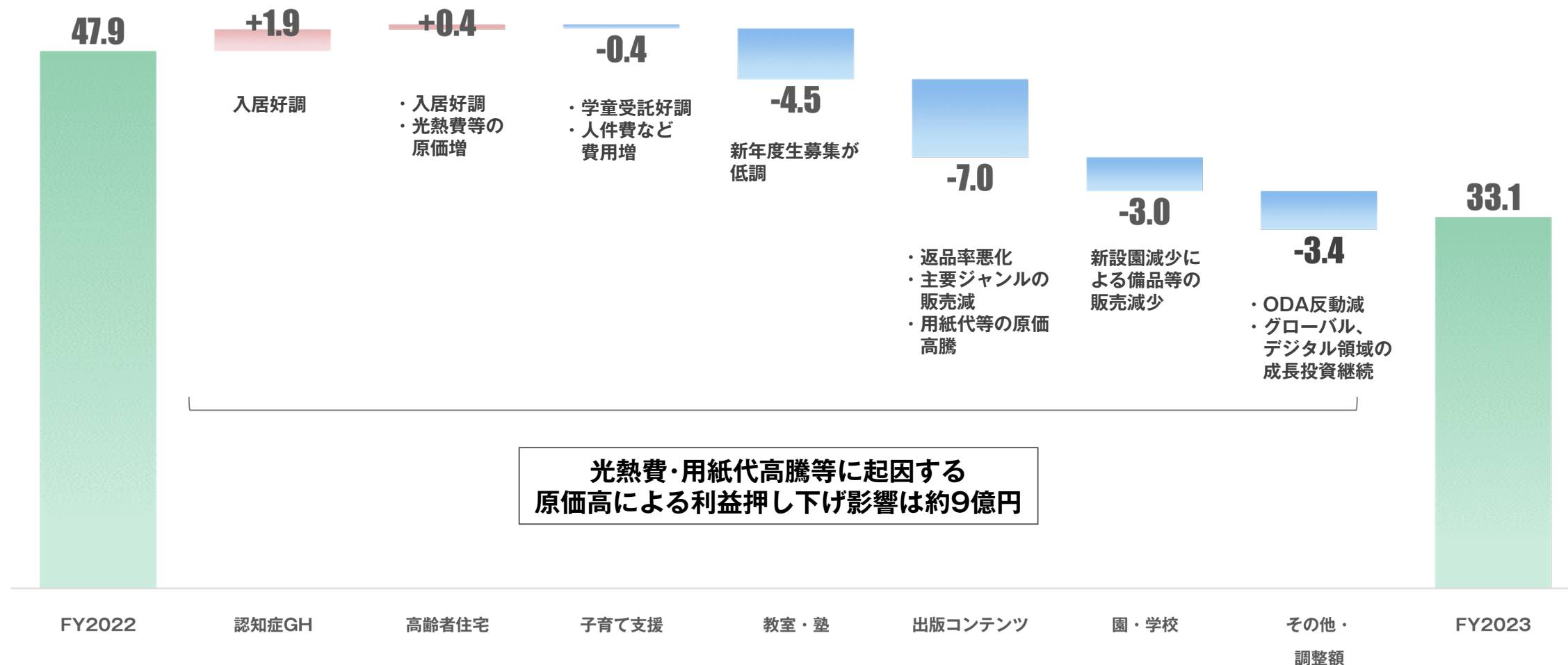
売上高	:	1,193.6億円	(前期比+2.0%)
営業利益	:	33.1億円	(前期比-30.9%)
経常利益	:	34.9億円	(前期比-30.4%)
四半期純利益	:	11.5億円	(前期比-59.5%)

- ・ 連結売上高：医療福祉分野の増収が牽引し、3Q累計では2.0%増収
- ・ 営業利益：3Q累計では30.9%の減益
出版事業と園・学校事業の事業環境悪化に加え原価高、円安等も影響
教室・塾事業の新年度募集も伸び悩む
- ・ 経常利益：営業利益減に伴い減益
- ・ 四半期純利益：営業利益減と政策保有株式の評価損（6.8億円）により減益

営業利益 増減分析

単位：億円

教育における出版販売減、返品率悪化、教室・塾における新年度生募集の低調などを主因に減益



※単位未満は四捨五入です。

連結業績予想

教育事業の減収減益に伴う計画差が拡大傾向にあることから、以下のとおり連結業績予想を修正します 単位：億円

連結	FY2022	FY2023 通期		FY2023 1～3Q累計		
	実績	期初予想	修正予想 ※2 2023年8月	実績	対修正予想 進捗率	対前期実績 進捗率
売上高	1,560	1,620	1,600	1,193.6	74.6%	76.5%
営業利益	64.3	67.0	56.0	33.1	59.1%	51.5%
営業利益率	4.1%	4.1%	3.5%	2.8%	—	—
経常利益	69.3	70.0	61.0	34.9	57.2%	50.3%
当期純利益	34.4	36.0	33.0	11.5	34.8%	33.5%
ROE ※1	7.2%	7.2%	—	—	—	—

※単位未満は四捨五入です。 ※1 通期指標につき四半期／半期での算出はしません。

※2 2023年7月28日に連結子会社化した(株)市進ホールディングスの影響は織り込んでおりません。

2023年 9月期 第3 四半期決算概要

2023年9月期 第3四半期決算 連結業績サマリー

※単位未満は四捨五入です。

売上高

1,193.6 億円

前年同期比

2.0% ↑

医療福祉分野の新規店積極開設で増収継続

営業利益

33.1 億円

前年同期比

30.9% ↓

出版事業での返品率悪化・原価高に加え
教室・塾事業の新年度募集伸び悩み

経常利益

34.9 億円

前年同期比

30.4% ↓

営業利益減に伴う減益

EBITDA

55.1 億円

前年同期比

21.2% ↓

営業利益減に伴う減少

四半期純利益[※]

11.5 億円

前年同期比

59.5% ↓

営業利益減と政策保有株式の評価損が主因

※親会社株主に帰属する四半期純利益

2023年9月期 第3四半期セグメント別業績サマリー

単位：億円

セグメント	事業	FY2022	3Q実績	FY2023	3Q実績	増減（対前期）	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野		593.3	32.9	572.7	19.6	△ 20.6	△ 13.3
	教室・塾	231.2	5.6	223.8	1.1	△ 7.4	△ 4.5
	出版コンテンツ	246.4	25.0	238.0	18.0	△ 8.4	△ 7.0
	園・学校	115.7	4.7	110.8	1.6	△ 4.9	△ 3.0
	のれん	-	△ 2.3	-	△ 1.2	-	+1.2
医療福祉分野		534.0	22.5	577.2	24.5	+43.2	+2.0
	高齢者住宅	237.2	9.4	265.3	9.8	+28.1	+0.4
	認知症グループホーム	253.7	15.3	265.5	17.2	+11.8	+1.9
	子育て支援	43.1	1.3	46.4	0.9	+3.4	△ 0.4
	のれん	-	△ 3.5	-	△ 3.5	-	±0.0
その他		42.8	6.2	43.7	3.3	+0.9	△ 2.8
調整額		-	△ 13.7	-	△ 14.3	-	△ 0.6
グループ合計		1,170.1	47.9	1,193.6	33.1	+23.5	△ 14.8

※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

2023年9月期 第3四半期 (3か月) セグメント別業績サマリー

単位：億円

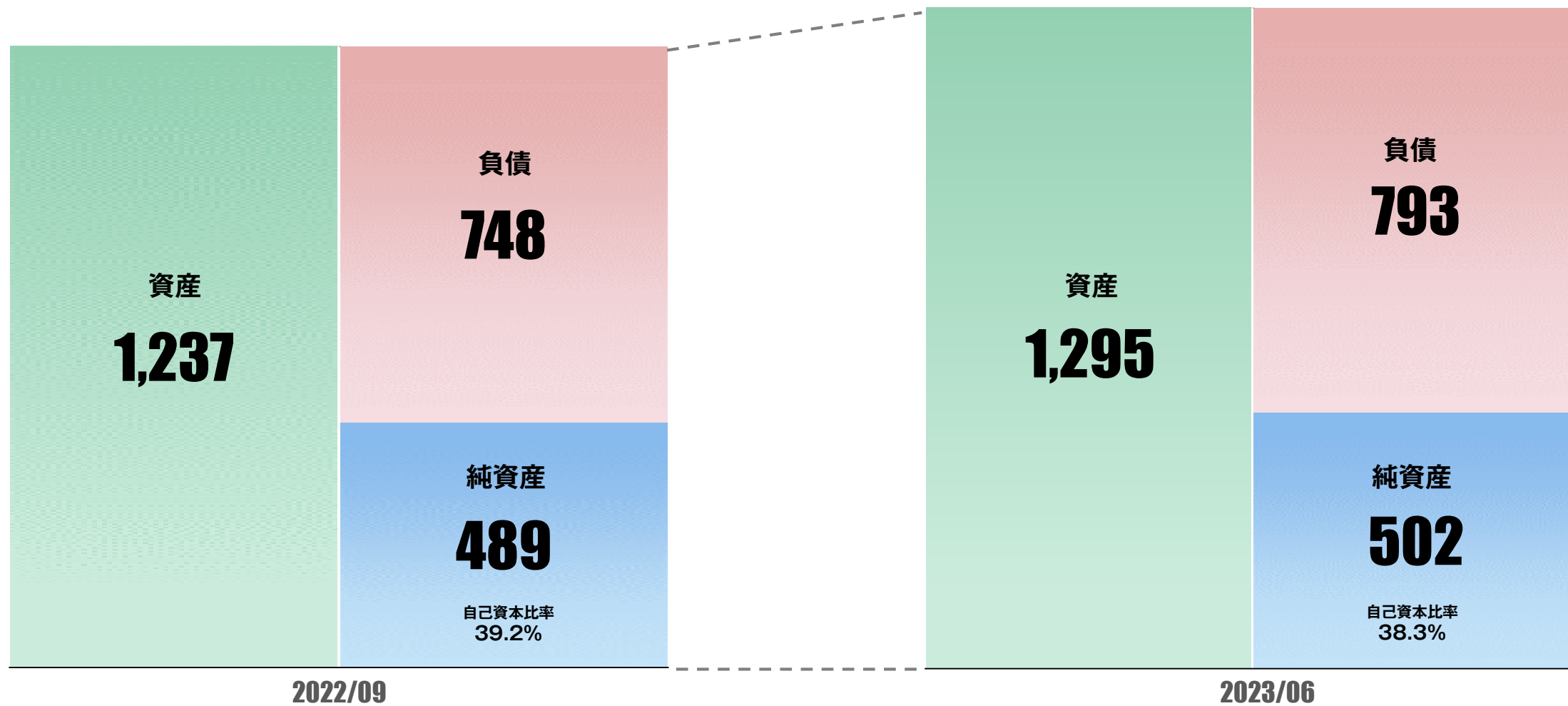
セグメント	事業	FY2022 3Q (3か月) 実績		FY2023 3Q (3か月) 実績		増減 (対前期)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野		178.9	△ 2.3	170.8	△ 6.0	△ 8.1	△ 3.7
	教室・塾	72.6	△ 1.3	70.2	△ 2.8	△ 2.4	△ 1.6
	出版コンテンツ	75.5	2.1	69.9	△ 0.1	△ 5.6	△ 2.2
	園・学校	30.8	△ 2.4	30.7	△ 2.8	△ 0.1	△ 0.3
	のれん	-	△ 0.8	-	△ 0.3	-	+0.4
医療福祉分野		181.9	10.6	196.4	10.7	+14.5	+0.1
	高齢者住宅	81.0	4.8	91.0	5.3	+10.1	+0.4
	認知症グループホーム	86.0	5.7	89.6	6.3	+3.6	+0.6
	子育て支援	14.9	1.2	15.8	0.3	+0.8	△ 0.9
	のれん	-	△ 1.2	-	△ 1.2	-	±0.0
その他		12.9	0.8	14.7	0.4	+1.7	△ 0.4
調整額		-	△ 4.5	-	△ 4.3	-	+0.2
グループ合計		373.8	4.6	381.9	0.8	+8.1	△ 3.8

※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

連結財政状態

単位：億円

自己資本比率は健全な水準を維持しており、今後の投資状況に特段の懸念はない



※単位未満は四捨五入です。

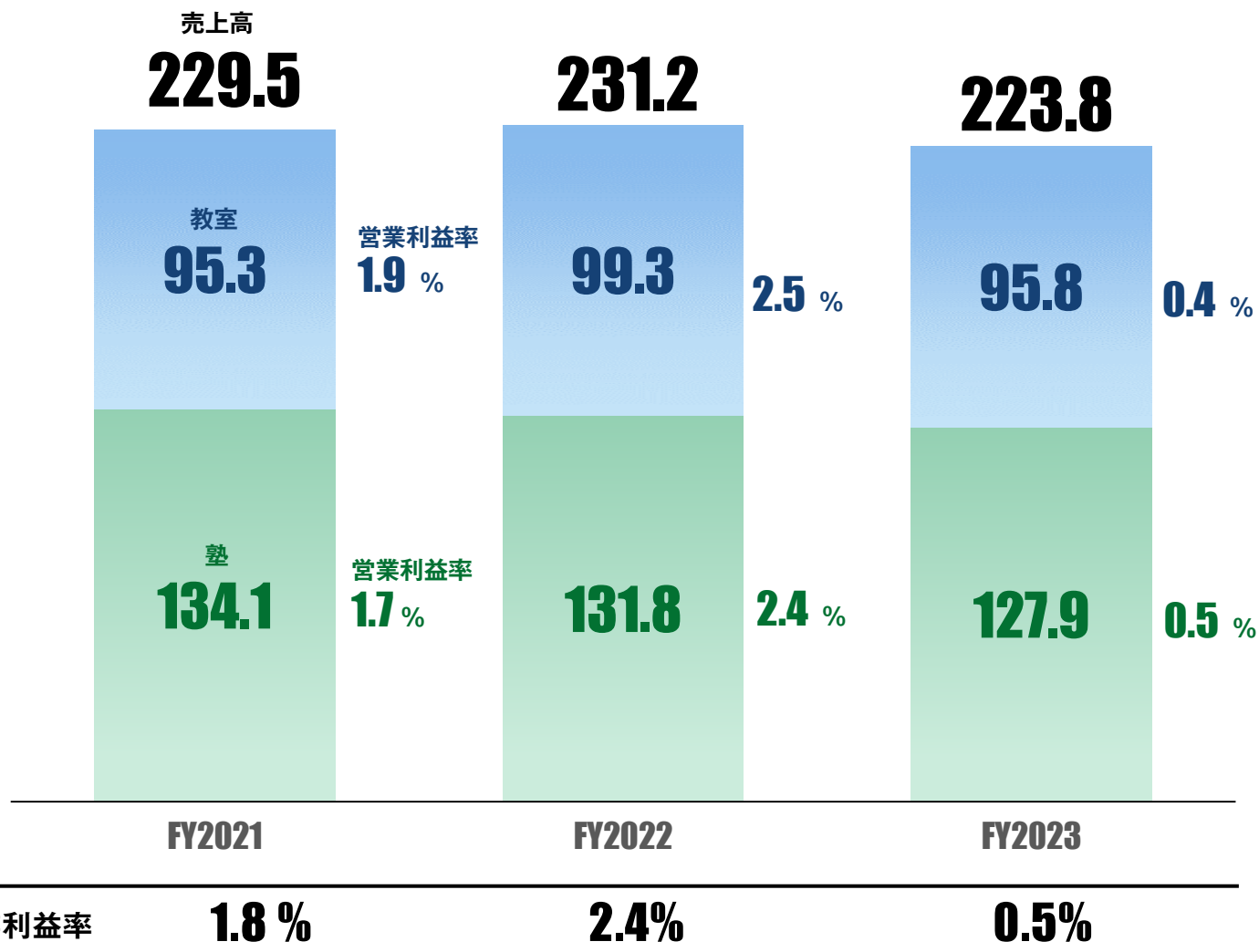
教育分野 第3四半期決算

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等を制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・教材の制作・販売。企業向け研修も展開

教室・塾事業 第3四半期決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・オンライン国語指導サービス「ことばパーク」会員数増加
- ・自治体の教育課題解決支援事業が堅調に拡大
- ・バーチャル・スマート・キャンパス（ViSC）の導入順調

ネガティブ要素

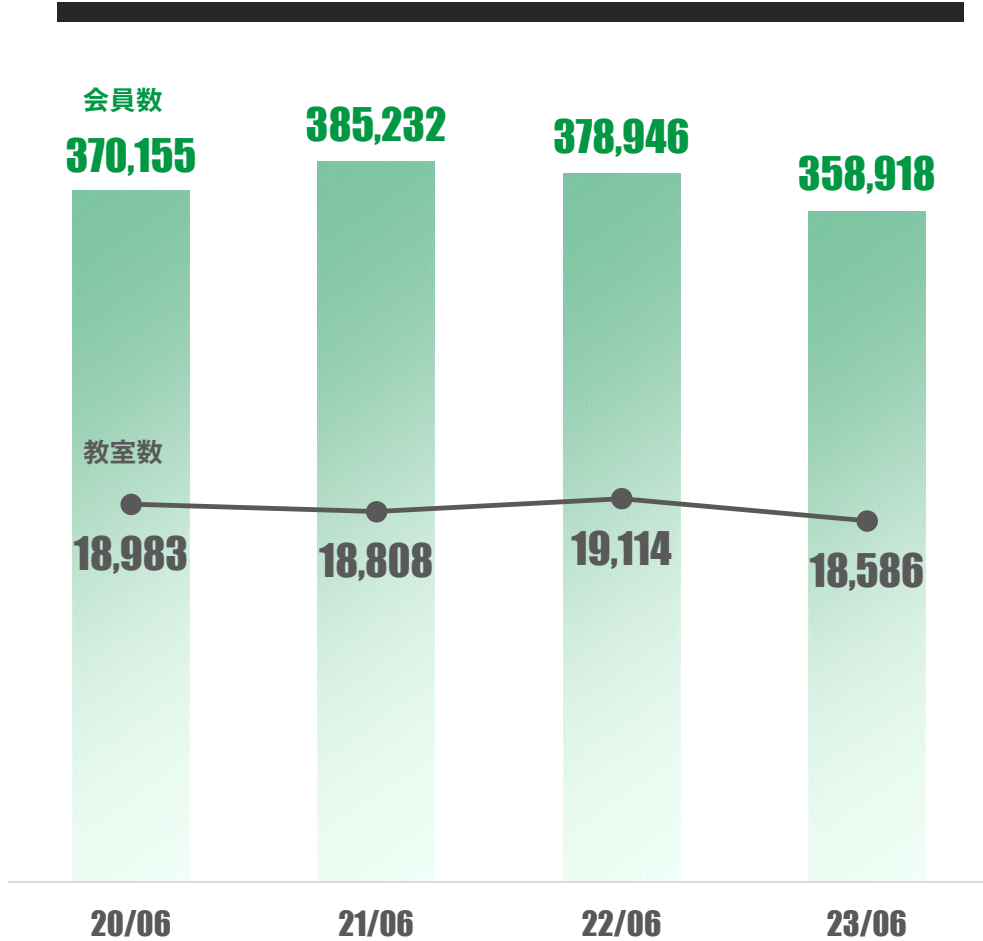
- ・新年度生募集が軟調。前期比で教室：5.3%減 塾：0.2%減
- ・新規教室開設苦戦：前期比528教室減
- ・物価高影響で通塾開始時期に遅れ 進学塾の業績に影響

※単位未満は切り捨てです。

教室・塾事業 会員数・教室数

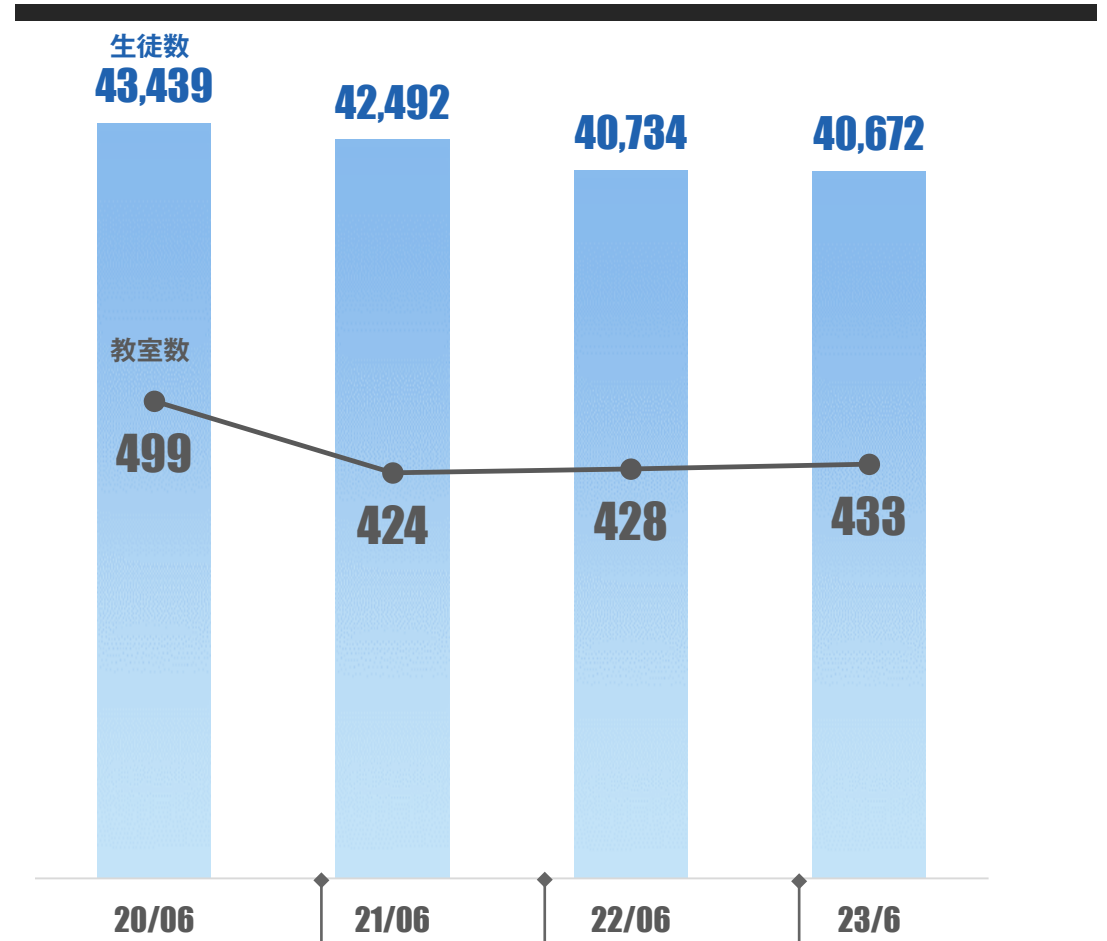
教室・塾事業とも新年度生の獲得が低調となり、会員数・生徒数減少傾向が続く
 学研教室は新規FC教室の開拓苦戦。幼児教室は開室数増加も会員数は低調

教室



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。事業譲受に伴い、2020年9月以降には小学館アカデミー、2021年7月以降にはめばえ教室の実績を含みます。

塾

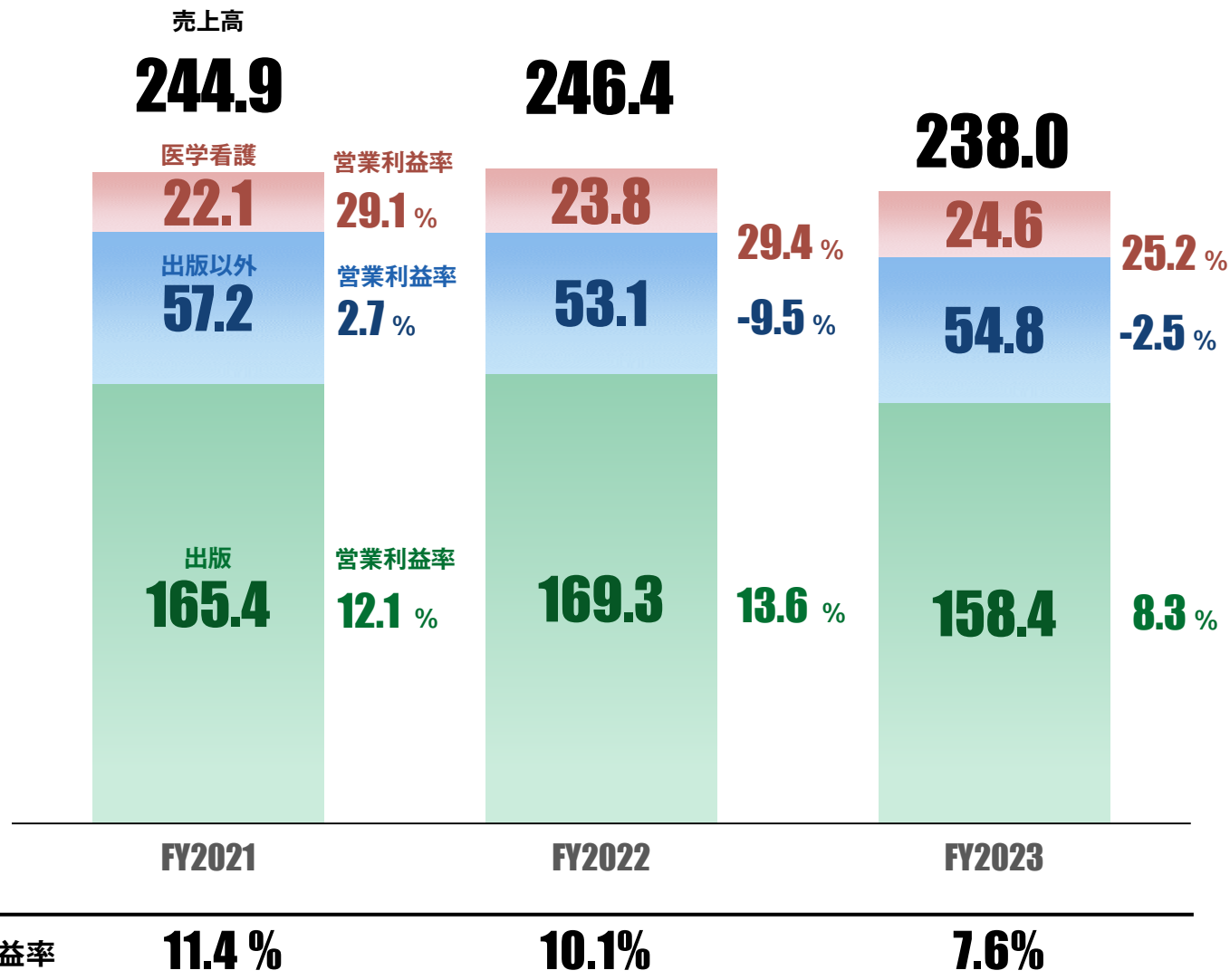


※2021年2月に学研アイズ、同3月にSIGN-1を収斂

※2022年4月に昇英塾、2023年5月にNEホールディングスがグループイン

出版コンテンツ事業 第3四半期決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・(株)地球の歩き方の地図ガイド本が好調継続
- ・看護師eラーニング事業の業績順調
- ・オンライン英会話事業好調

ネガティブ要素

- ・書籍返品率は前期比で4.4%pt悪化
前期：22.1%→当期：26.5%
- ・児童書、学参など主要ジャンルの販売低調
- ・トイ市況低迷
- ・円安などによる原材料費や物流費等のコスト上昇

※単位未満は切り捨てです。

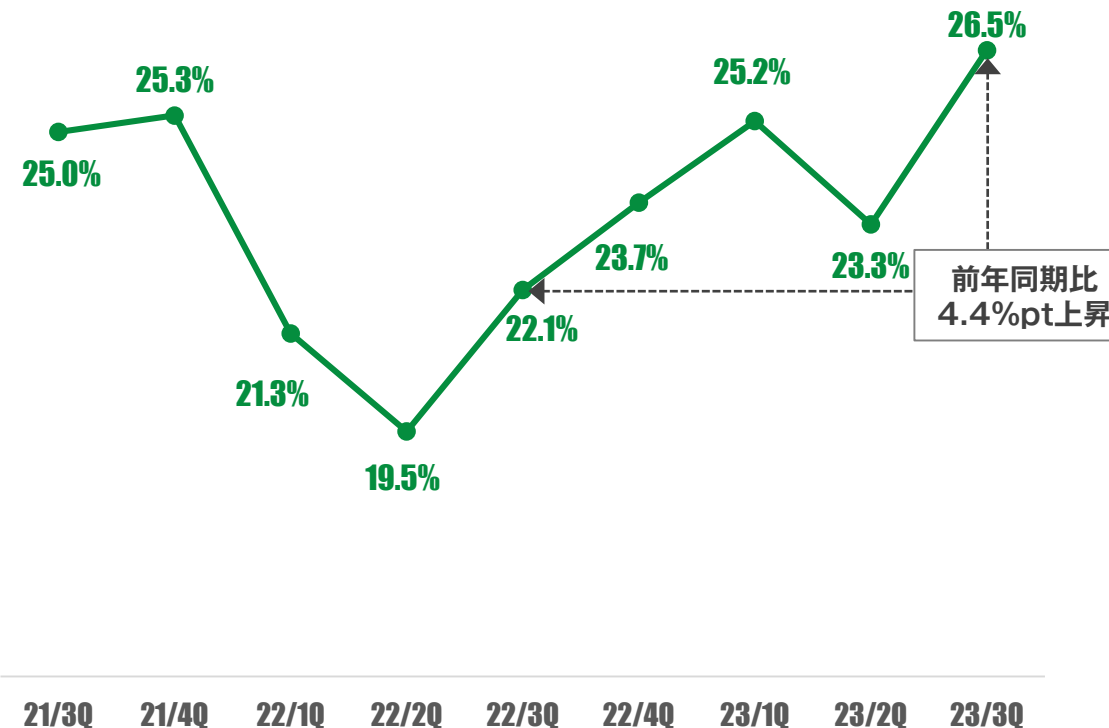
出版事業 書籍新刊点数／返品率

新刊発刊点数は「地球の歩き方」が牽引する実用書ジャンルで増加。当期の累計返品率は前年同期比で4.4%pt悪化

第3四半期累計 書籍新刊点数^{※1}

	21/06	22/06	23/06
児童書	149	138	118
学習参考書	137	147	128
実用書 ^{※2}	117	136	166
ムック	23	26	22
その他書籍	66	85	112
合計	492	532	546

書籍返品率（期中累計）

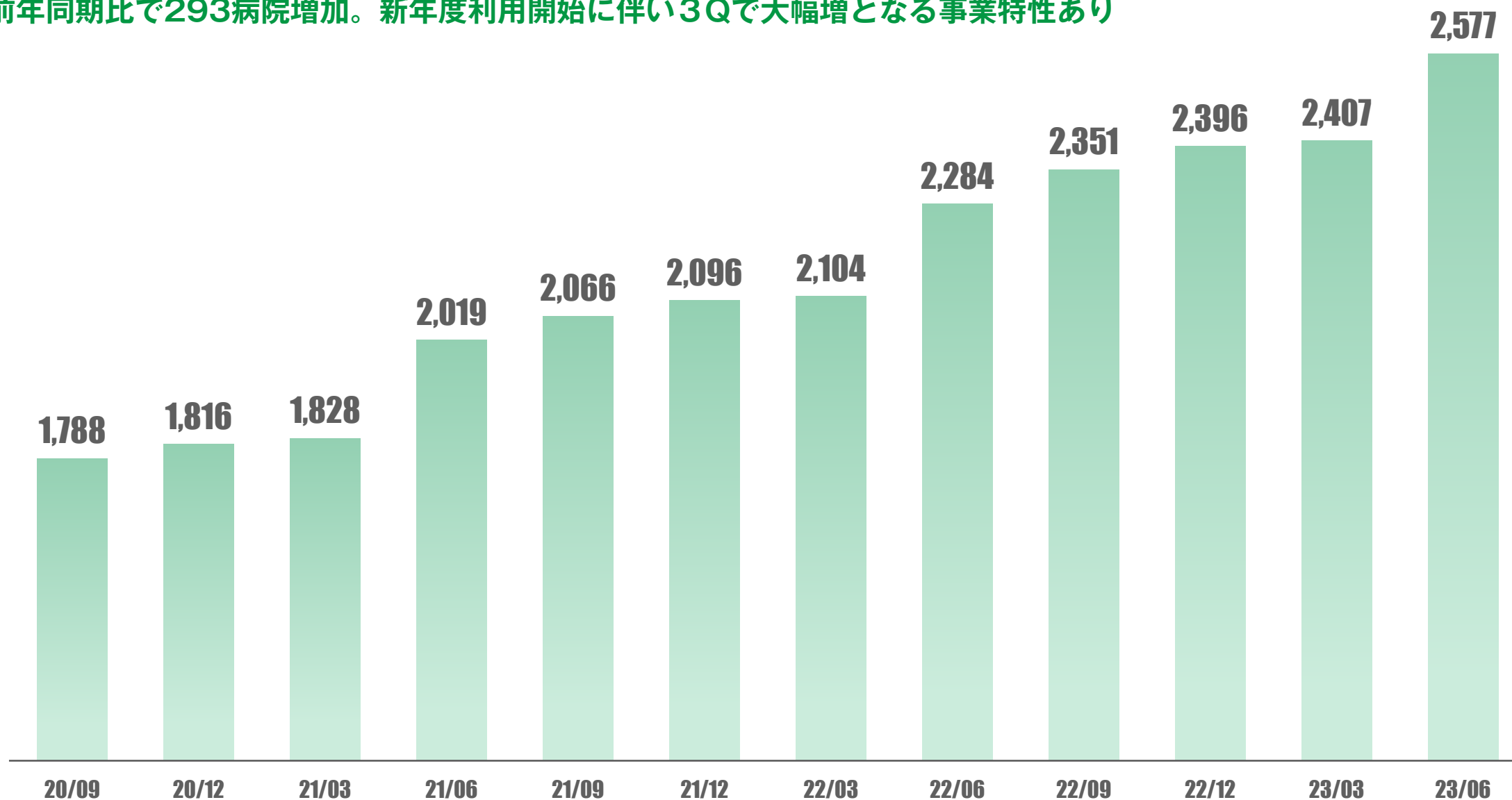


※1 書籍（雑誌は含まず）発行点数及び返品率は(株)Gakken と (株)地球の歩き方の合算です。(株)文理の数値は含みません。

※2 (株)地球の歩き方の実用書新刊点数について：2021年グループイン当初の発行所・発売元変更に伴う新刊発刊は、同年の実用書新刊点数から差し引いています。

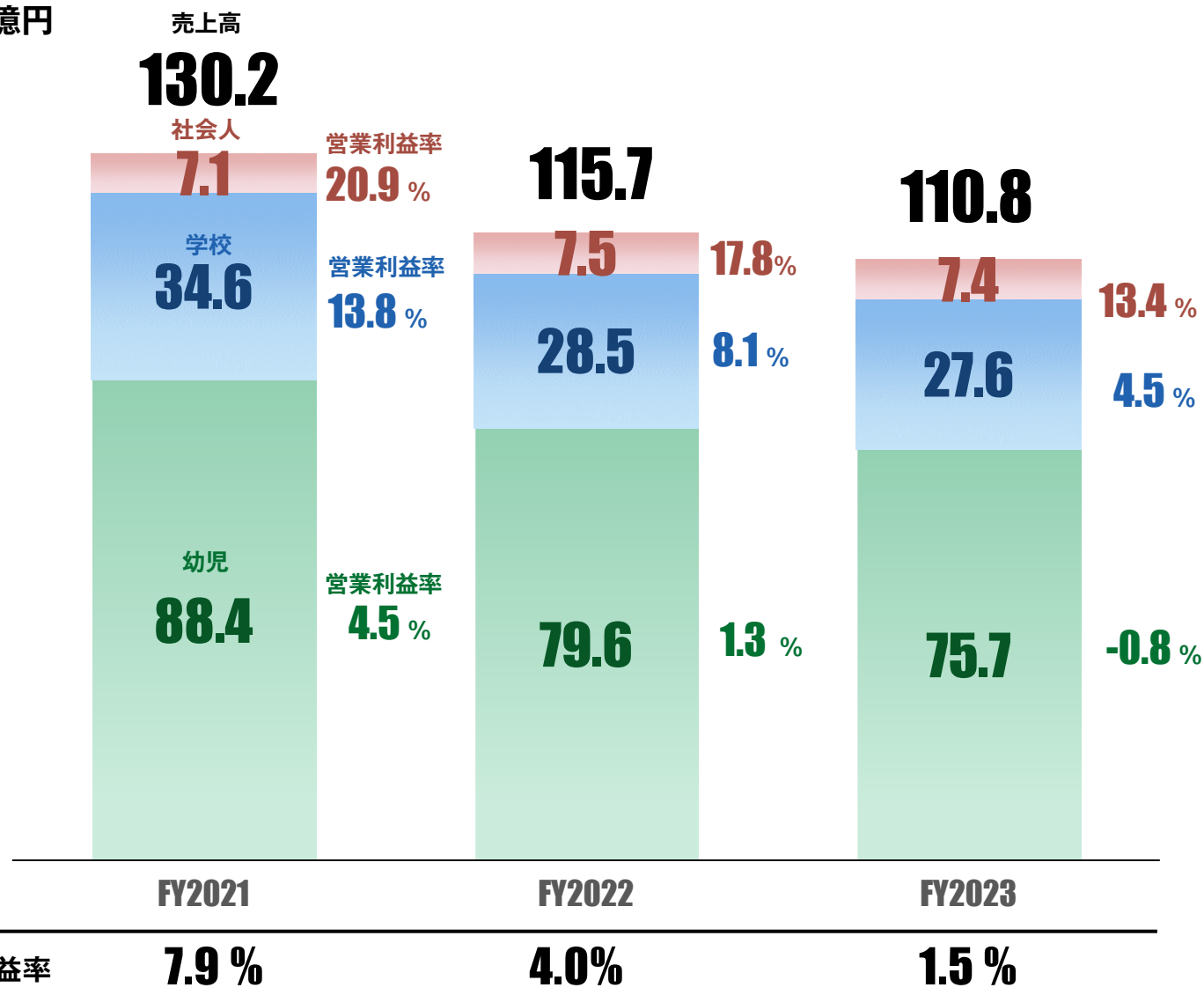
医学・看護事業 看護師向けeラーニング契約病院数

前年同期比で293病院増加。新年度利用開始に伴い3Qで大幅増となる事業特性あり



園・学校事業 第3四半期決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 保育ICTシステム「hugmo」ユーザー数拡大
- ・ 小学道徳・保健の2024年度採択シェアアップ、教科書指導書売上獲得に向け営業力強化
- ・ バス置き去り防止安全支援装置販売好調

ネガティブ要素

- ・ 教科書採択の端境期のため教師用指導書の売上なし
- ・ 新設園減少に伴い、園向け大型遊具・備品受注が低調
- ・ 補助金減少、需要低迷による先生向けエプロンなど高利益率商品の販売不振

※単位未満は切り捨てです。

学校事業 教科書発行スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性）

● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定

◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
小学 保健	●	◎		△	●	◎		△
中学 保体	△	●	◎		△	●	◎	
小学 道徳	●	◎		△	●	◎		△
中学 道徳	◎ △	●	◎		△	●	◎	

※教師用指導書の売上は「◎使用開始」年度に集中します。

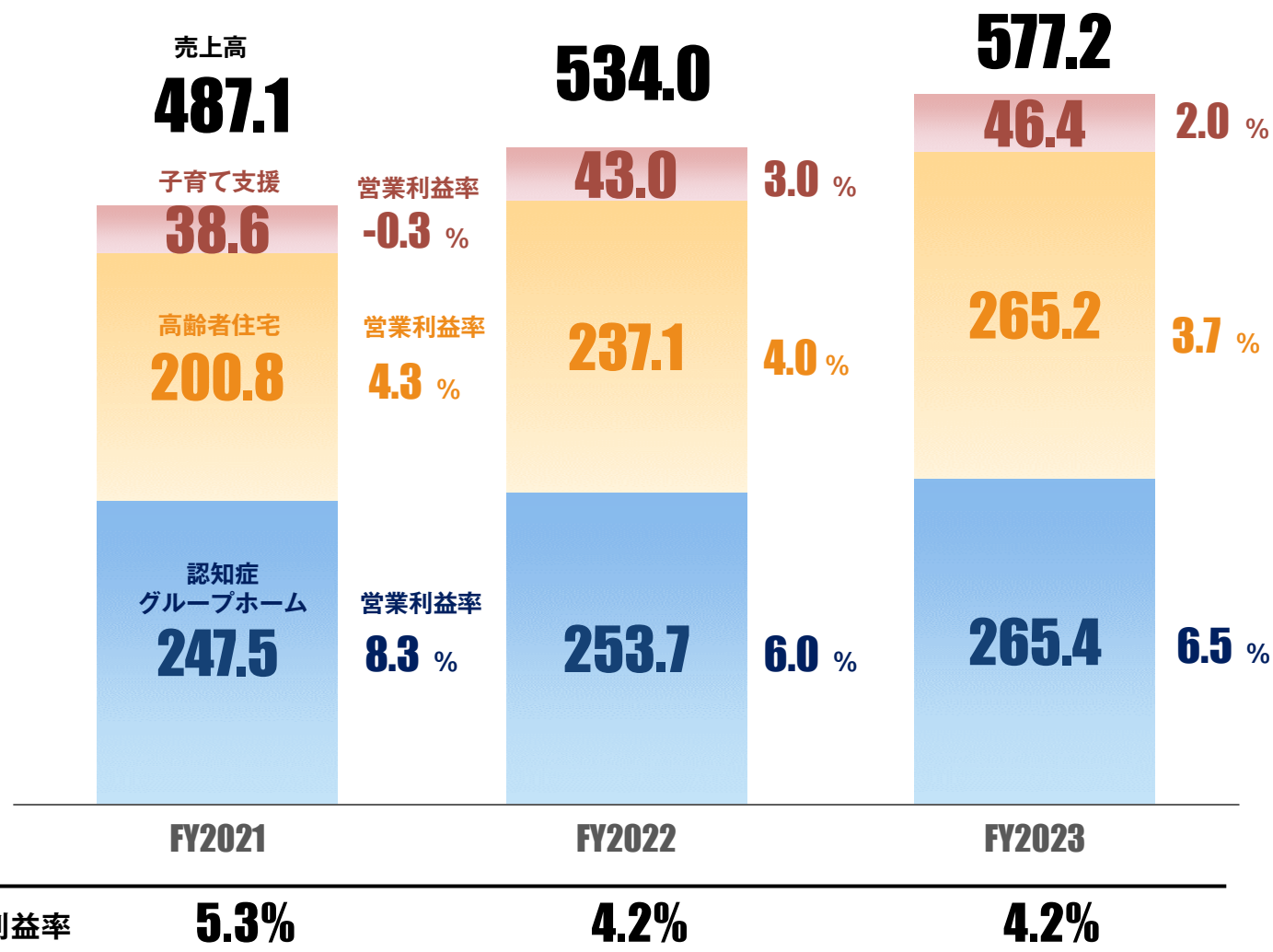
医療福祉分野 第3四半期決算

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1)高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2)認知症グループホーム事業 … グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3)子育て支援事業 … 保育園・子ども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉分野 第3四半期決算サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・新規開設順調
 - 高齢者住宅（3事業所）
 - 認知症GH（5事業所）
 - 学童保育（3事業所）
- ・入居率、充足率は高水準で推移
 - 高齢者住宅 95.6%
 - 認知症GH 96.8%
 - 保育園 94.4%

ネガティブ要素

- ・建設費高騰に伴い新規開設の先送りなど、一部オーナーの建設判断に慎重な動き
- ・食材費等物価高騰に伴うコスト増
- ・光熱費の高騰によるコスト増（既存店比較で約6億円の影響）

※単位未満は切り捨てです。

新規開設計画と進捗

- ・高齢者人口の増加や放課後の預かりニーズ需要増に対応するため、積極的な新規開設計画ペースを維持
- ・M&Aによる事業譲受や学童などで開設数を積み増し、計画達成を目指す

単位：開発数

	FY2022	FY2023					
	通期開設実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	1-3Q累計	通期計画	進捗
高齢者住宅	21 事業所 (22棟)	4	2	3	9	16~22	56.3%
認知症 グループホーム	11	3 M&A:1件含	3 M&A:1件含	5 M&A:2件含	11	12~15	91.7%
子育て支援施設	3	4	0	3	7	4	175.0%
合計	35	11	5	11	27	32~41	84.4%

※国内拠点のみの数値です。

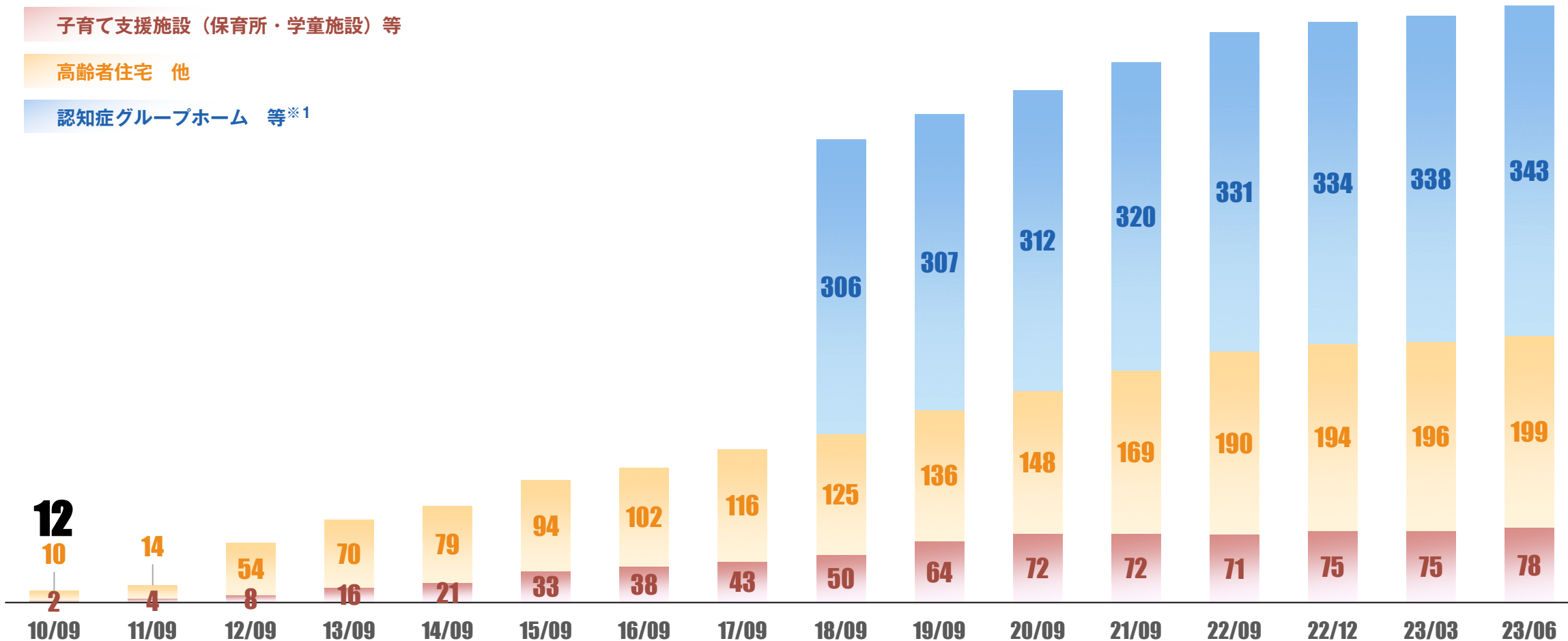
※子育て支援施設は保育園・学童施設・児童発達支援施設・子育てステーションの合算です。

※記載の数値は、同期間の閉鎖数を差し引いていません。

※従来の開示資料は海外拠点の数値を含んでいたため、認知症グループホームの2Q実績 4（海外1棟含む）を3に訂正しました。他の時点の数値に変更はありません。

拠点数

各事業とも新規開設順調。子育て支援施設は、主に学童の運営受託により増加

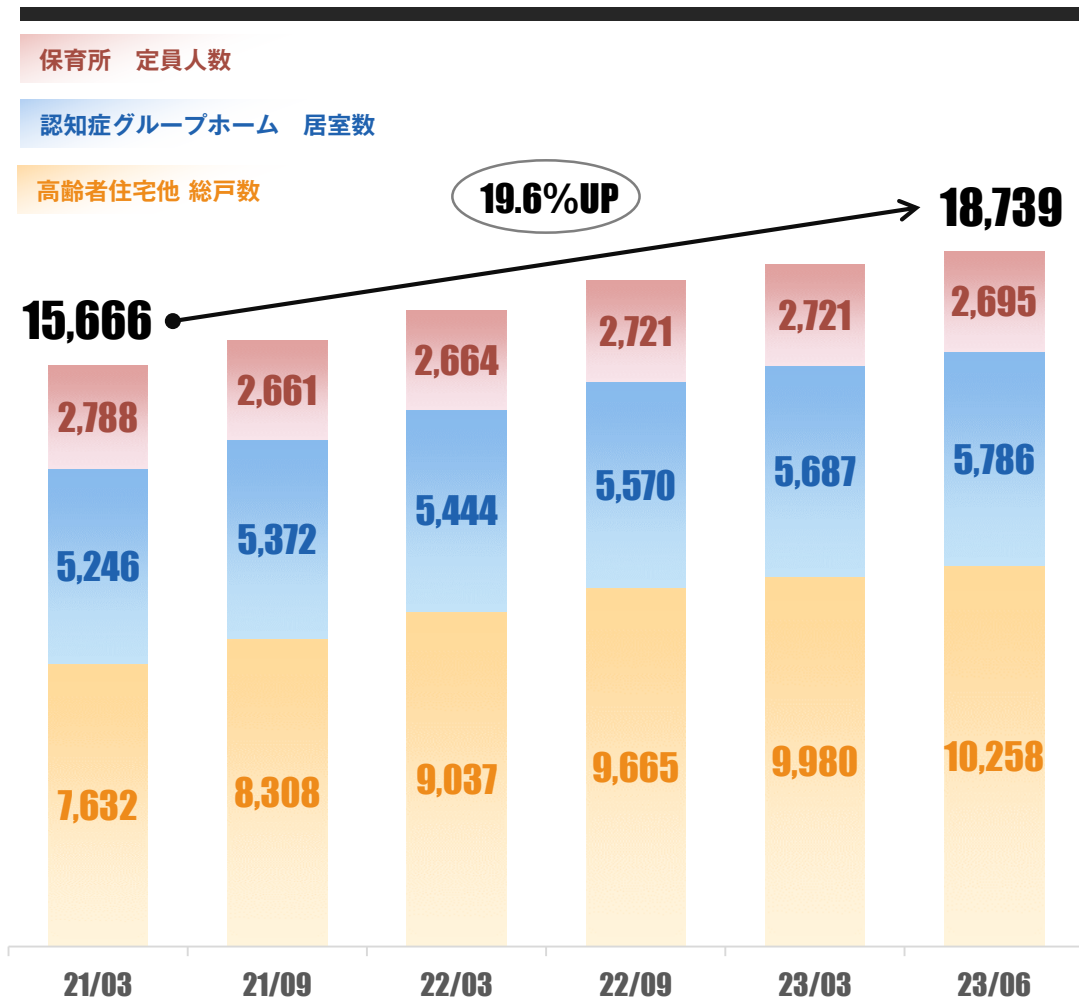


※記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。

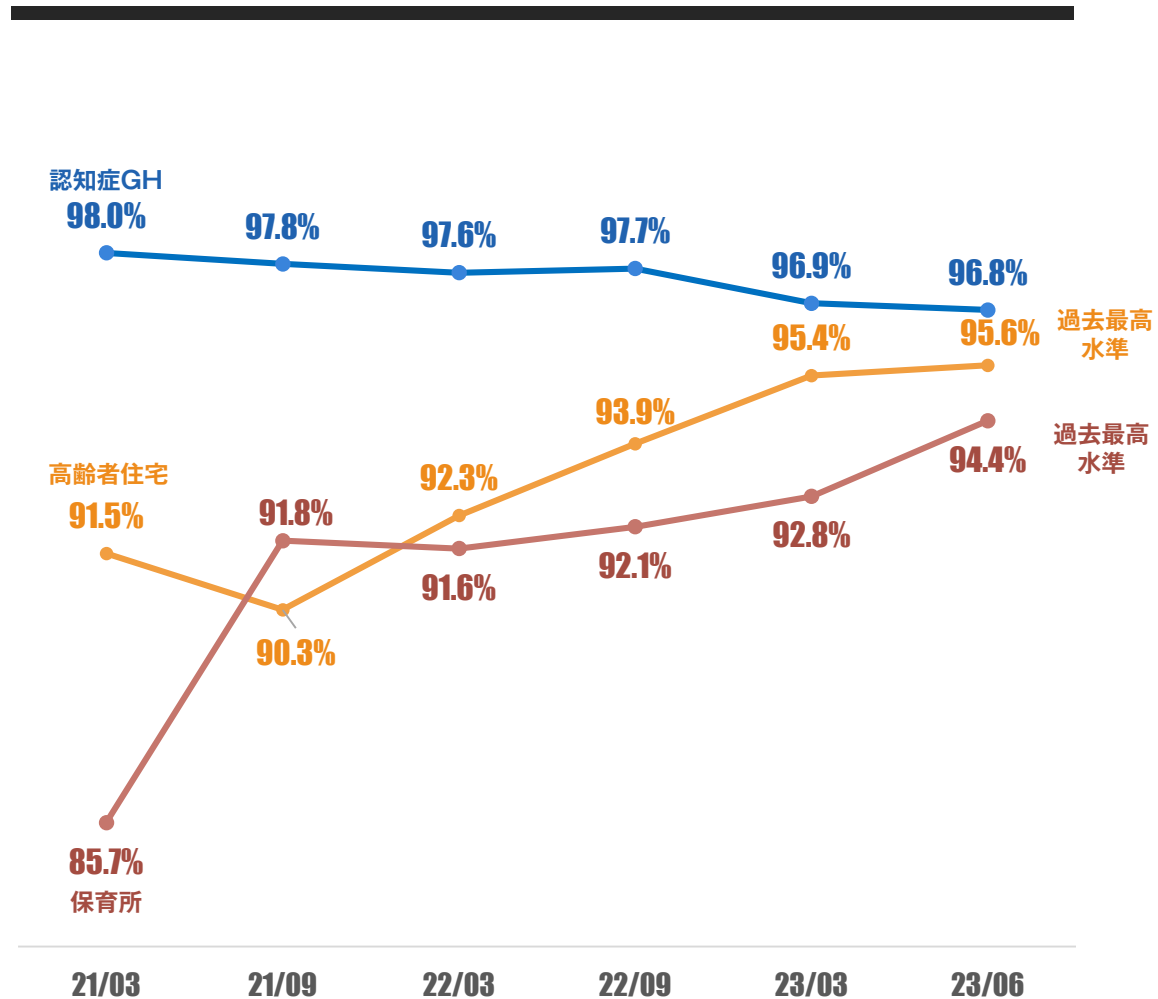
※1 海外拠点を含まず。

医療福祉分野 キャパシティ拡大と稼働状況向上

総戸数・居室数・定員数推移



入居率・充足率推移



医療福祉分野 入居率・充足率

		20/03	20/09	21/03	21/09	22/03	22/09	23/03	23/06
高齢者住宅	総戸数	6,898	7,182	7,632	8,308	9,037	9,665	9,980	10,258
	入居数	6,289	6,600	6,985	7,505	8,345	9,073	9,519	9,806
	入居率	91.2%	91.9%	91.5%	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	95.6%
認知症 ^{※1} グループホーム	居室数 ^{※2}	5,192	5,246	5,246	5,372	5,444	5,570	5,687	5,786
	入居率	98.0%	98.0%	98.0%	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%
子育て支援施設	定員数 ^{※3}	2,497	2,788	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695
	園児数	2,107	2,381	2,389	2,443	2,441	2,505	2,524	2,544
	充足率	84.4%	85.4%	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	94.4%

- ※1 認知症グループホームの運営事業会社 メディカル・ケア・サービス(株)は2021年9月期より決算期を変更しました。これに伴い2021年3月以前の実績は、8月を「9月」、2月を「3月」にそれぞれ読み替えております。
- ※2 認知症グループホームの居室数に海外および他区分施設の居室数は含まれません。
- ※3 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

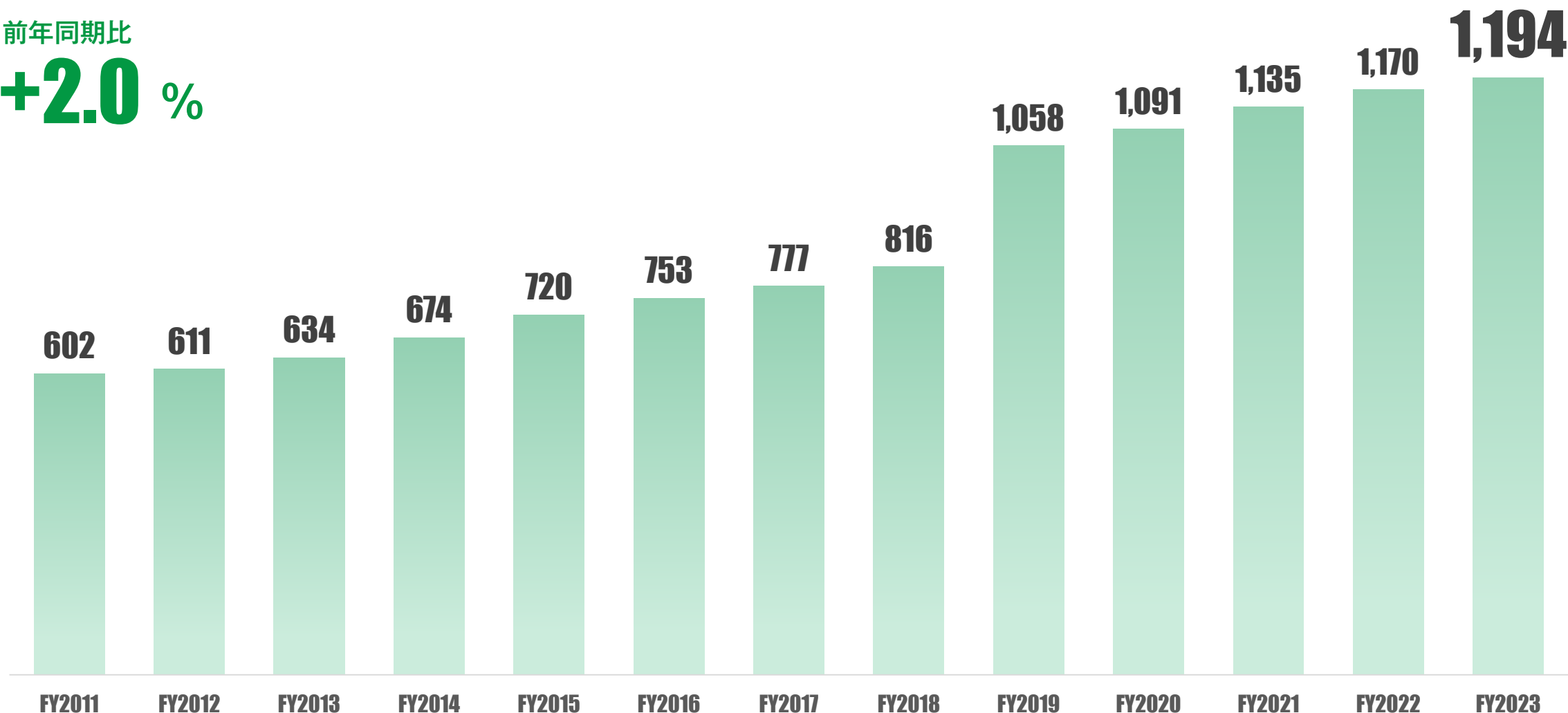
決算補足資料

第3四半期 売上高推移

単位：億円

前年同期比

+2.0 %



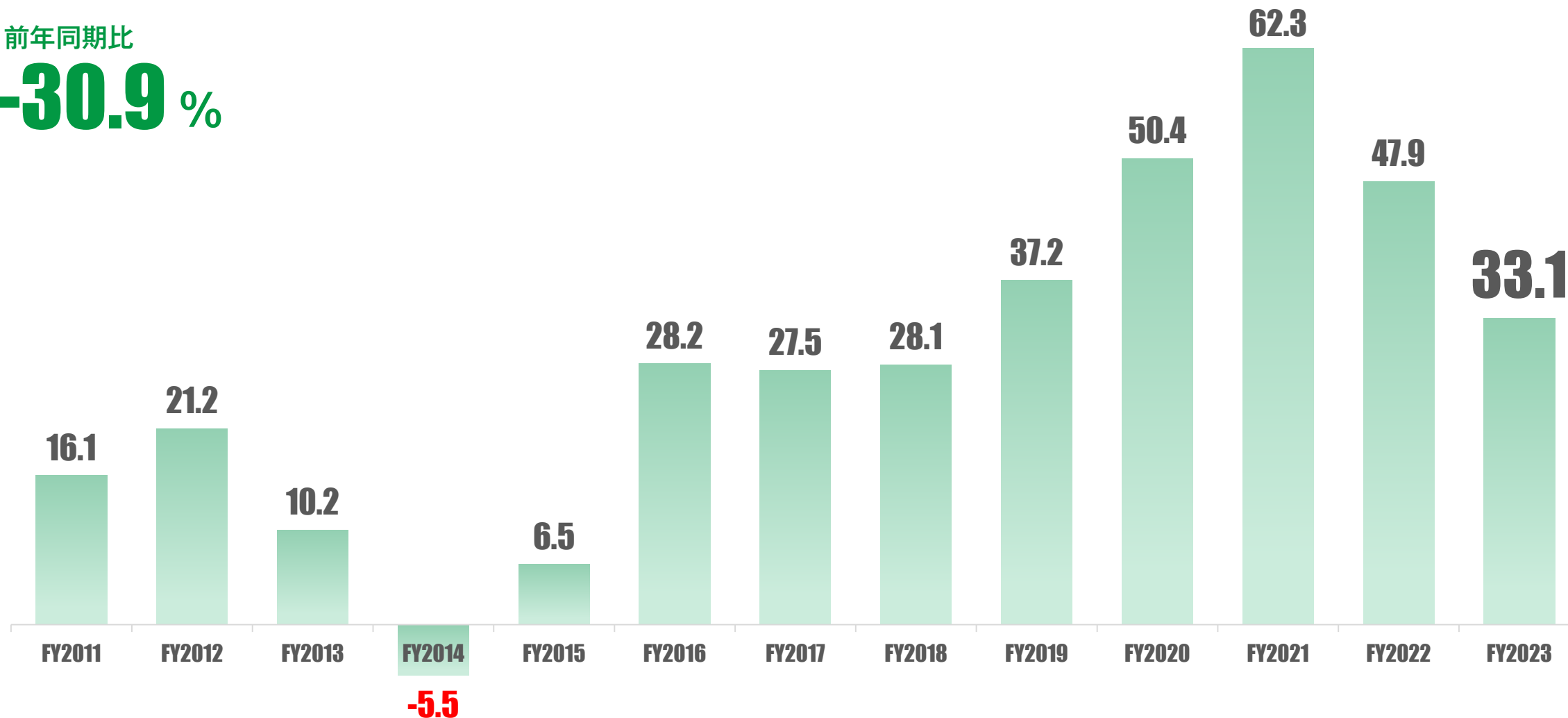
※単位未満は四捨五入です。

第3四半期 営業利益推移

単位：億円

前年同期比

-30.9%



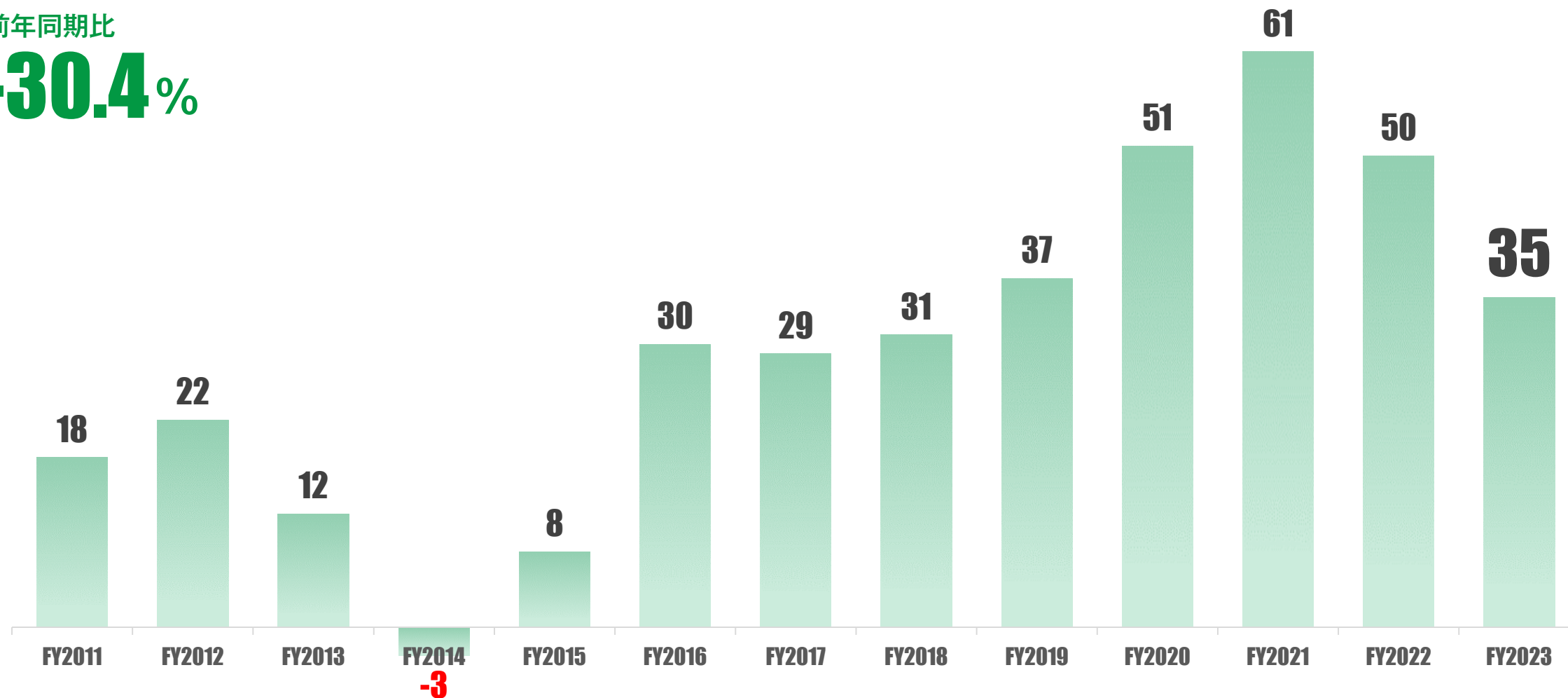
※単位未満は四捨五入です。

第3四半期 経常利益推移

単位：億円

前年同期比

-30.4%



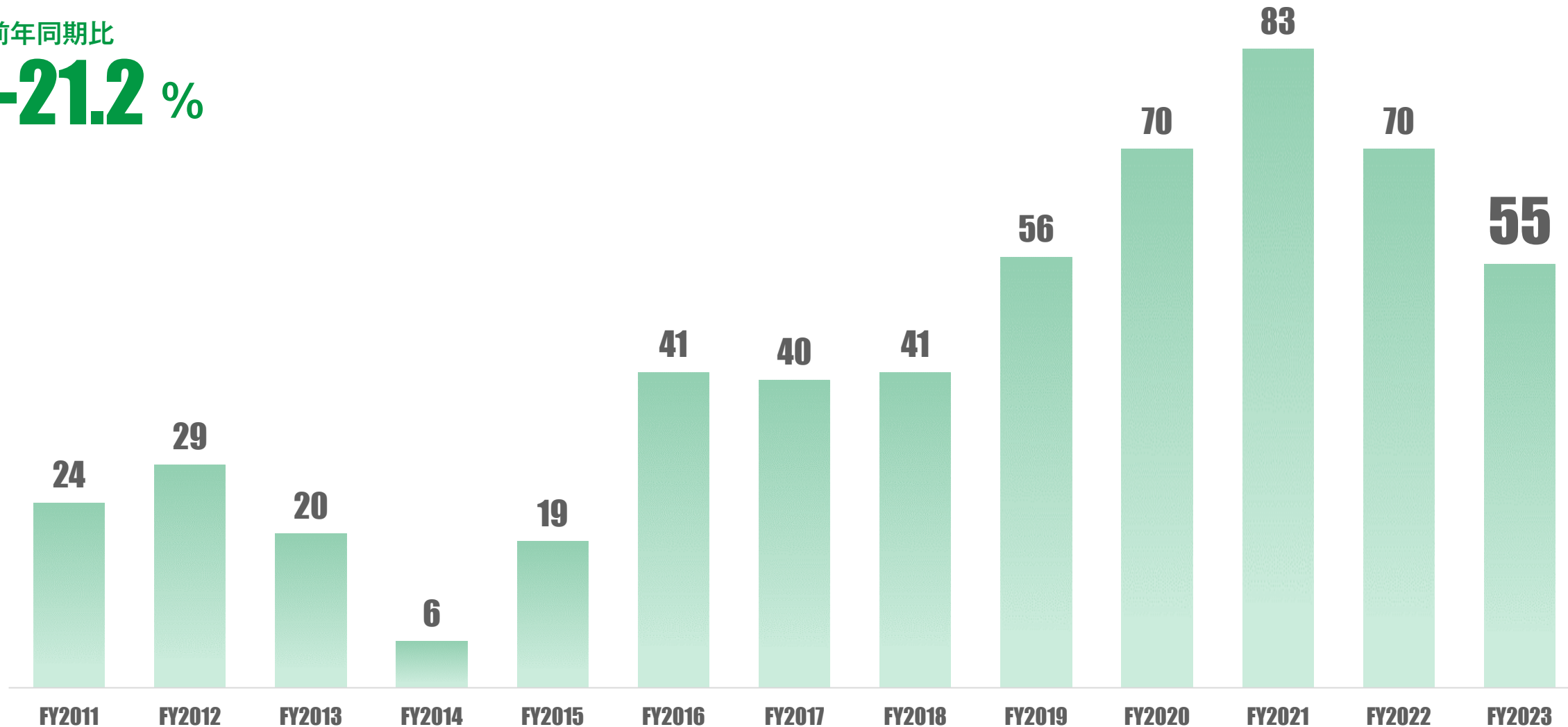
※単位未満は四捨五入です。

第3四半期 EBITDA^{*} 推移

単位：億円

前年同期比

-21.2 %



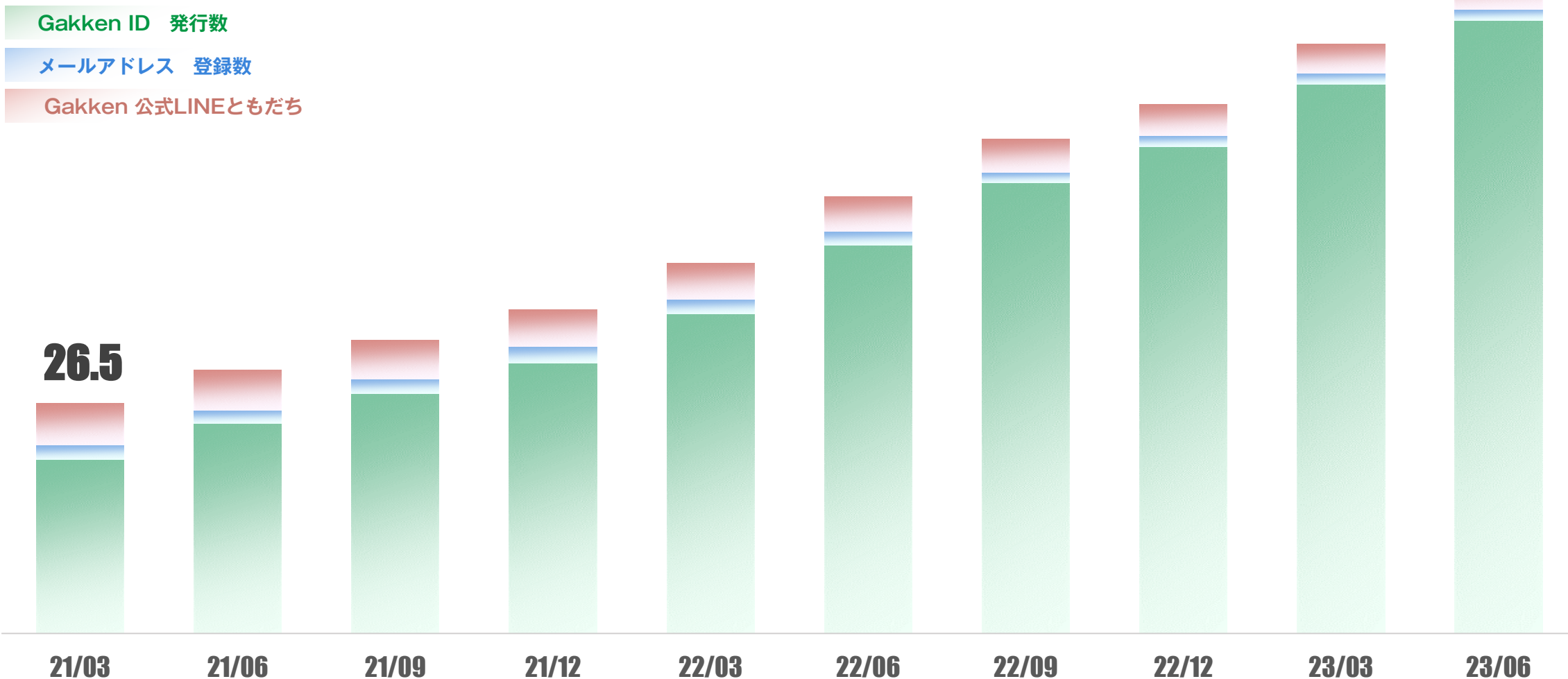
※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算です。

※単位未満は四捨五入です。

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

個別サービス毎のID取得は75万に到達。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す

単位：万件



Gakken

**Gakken Group hopes that everyone has fulfilling lives.
To this end, we provide inspiration, satisfaction, safety for today,
and dreams and hopes for tomorrow.**